

第22号  
平成6年6月25日発行

編集発行 / 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1(名古屋市立大学経済学部内)

## 創設30周年に想う

経済学部長 宮川 淳



1964年4月1日に創設された本学経済学部は、この4月1日をもって満30歳となり、今年は創設30周年の記念行事が行われる。この30年間、わが経済学部はほぼ順調に成長・発展し、今や中京地区では勿論のこと、全国的にみても有数の経済学部になったと自負している。

想えば私が経済学部採用されたのは1965年12月1日付けであり、名古屋に移り住んだのは第1回生が3年生になった1966年4月からであった。当時、医学部付属病院は現在博物館が建っている場所にあり、経済学部はいま看護短大が建っているあたりにあった木造2階建ての旧制名古屋高商の老朽校舎を使っていた。また経済学部の先生方の多くは関西や東京から通勤されており、名古屋在住者は木村さん(現中京大)、松永さん(現早稲田大)、根津さんと私の4人に過ぎなかった。はたして将来、十分な研究・教育が出来る学部になるだろうか、不安の念にかられることもあった。

その後、1967年には現在地に現在の校舎が建てられ、講座数も徐々に増えて1972年には当初目標の15講座となり、また大学院も当初計画に沿って1968年に修士課程が、1970年には博士課程が設置されたほか、1989年には昼夜開講制の社会人大学院も設置された。現校舎建設当時、その周辺に植えられた幼木が、いまや3階に届

くほどに成長しているのを眺めるにつけ、この30年間のキャンパス内外での様々な場面が想い返され、感慨一入のこの頃である。

ところで、30年をもって1世代とするならば、わが経済学部もいよいよ第2世代に入ったことになる。第1世代に積み残した課題を完成させるとともに、第2世代の飛躍を図らなければならない。今後1世代30年の間に日本が、また世界がどうなるかを予測することは極めて困難であるが、人類の生存にかかわるような大変化が起こるかもしれない、といった予感は今も広く一般化している。その中で経済学がどのような有意義な役割を果たしうるかが問われることになる。そういった長期的視点からわが経済学部のあるべき姿を構想する必要がある。

しかしそのためにも、第1世代に積み残した課題、すなわち当初5階建ての計画であった現校舎が、建築基準法の改正により、5階部分の増築が困難になったことによるスペース不足、しばしば計画されながら未だ実現していない付属研究所の設置、昼夜開講制社会人大学院の本格的な夜間制への移行などを、早急に解決することが必要である。

経済学部の発展のため、卒業生各位の一層の御支援をお願いしたい。

# 卒業式・謝恩会

3月15日は例年のごとく、晴れの日に恵まれ、卒業式も無事終了し、午後4時30分から2時間、昨年同様名古屋ヒルトン竹の間にて、謝恩会を行いました。

まず、最初にクラスごとに分かれ、写真撮影をしました。翌月には、社会人となる卒業生たちは、入学式の時に撮ったクラス写真と比べ、さぞかしびっくりすることでしょう。

途中、ビンゴ・ゲームを行い、先生方も一緒になって楽しみ、会は一層盛り上がりました。

ゼミごとに分かれたテーブルでは、正装した卒業生たちが、写真を撮ったり、学生生活のお



## 新学長決まる

蜂須賀養悦前学長の任期満了に伴う学長選挙は、2月7日に第2次選挙の開票が行われその結果、伊東信行医学部長が次期学長に選出されました。任期は、3月24日から4年間。

同氏は、奈良県立医科大学卒で、同医科大学教授を努められ後、昭和49年より名市大医学部教授、平成3年から2年間医学部長を努められた。専攻は、病理学。

日本病理学会の理事及び評議員、日本癌学会の理事及び評議員並びに平成6年度会長。

また、昭和60年5月には、「化学発癌に関する病理学的追求」が認められ、第38回中日文化賞を受賞された。



もい出話に花を咲かせていたようです。皆でこのような会を開けたことは、きっと、皆の良い記念になったのではないのでしょうか。この会を開くにあたり、ご協力いただきました瑞山会の皆様には、厚くお礼申し上げます。

松阪美枝子(第27期生)

## ☆平成5年度 瑞山会賞受賞者

江口貴子、杉浦弘典、寺西慶徳、丸山詠子、宮本寿治

## 学部人事異動

- 平成6年2月28日退職
  - 教授 (経営会計学) 星野 靖雄
- 同年3月31日退職
  - 教授 (経済理論) 辻 正次
  - 教授 (経営会計学) 梅津 和郎
- 同年4月1日採用
  - 講師 (経営理論) 阿部由起子
  - 助手 (同) 中原 隆幸
  - 助手 (同) 富田 知嗣
  - 助教授(経済政策Ⅰ) 福重 元嗣
  - 助教授(経済政策Ⅱ) 荻内 繁己
- 同年4月1日異動
  - Ⓢ 学部長 教授(経済政策Ⅰ) 宮川 淳
  - Ⓢ 助教授(経済理論) 北坂 真一(講師より)
  - Ⓢ 教授(経営会計学) 藤本 義治(助教授より)

## 平成6年3月卒業の就職状況

建設業 6(1)	卸売業 13(4)	安田生命 2(0)	日本土地評価システム 1(1)
松村組 1(0)	阪和興業 2(1)	明治生命 1(0)	名南経営センター 4(3)
大日本土木 1(0)	豊田通商 4(3)	朝日生命 1(0)	監査法人トーマツ 1(1)
矢作建設 1(0)	興和 1(0)	その他	遠島公認会計士事務所 1(1)
トーエイネック 1(0)	八木兵 1(0)	日立クレジット 2(1)	伊藤信吾会計事務所 1(0)
大和ハウス工業 1(0)	松栄商事 1(0)	オリエントコーポレーション 1(0)	浅野会計事務所 1(1)
中部ホームサービス 1(1)	日本事務器 1(1)	セントラルファイナンス 1(0)	溝口会計事務所 1(1)
製造業 27(4)	八神製作所 1(0)	セントラルリース 1(1)	日比野会計事務所 1(1)
食料品・たばこ 2(0)	ズスケン 2(0)	東日本建設業保証 1(0)	豊田税理士事務所 1(1)
ミツカン 1(0)	昭和薬品 1(0)	運輸通信公益事業 18(7)	公務 22(12)
アサヒビール 1(0)	小売業	運輸	国家事務
出版印刷業 2(1)	丸栄 2(1)	航空集配サービス 1(1)	大蔵省東海財務局 1(0)
大日本印刷 1(0)	青山商事 2(0)	通信	防衛庁 1(1)
新日本法規出版 1(1)	ユニクロ 1(0)	N T T 2(1)	名古屋国税局 3(2)
化学工業 2(0)	三交クリエイティブライフ 1(0)	中部テレコム 1(0)	地方事務
イノアックコーポレーション 1(0)	ヤオハンジャパン 1(0)	電気・ガス・水道	愛知県 4(1)
積水化学工業 1(0)	栄電社 1(1)	中部電力 1(0)	大阪市 1(0)
石油・石炭製品 1(0)	トヨタカラーラ愛豊 1(0)	教育	名古屋市 6(4)
コスモ石油 1(0)	金融保険不動産業 48(11)	河合塾 1(1)	蒲郡市 1(1)
鉄鋼業 1(0)	銀行・信託業	名教塾 1(1)	西尾市 1(0)
豊田スチールセンター 1(0)	日本銀行 1(0)	松下総合教育企画 1(1)	常滑市 1(1)
金属製品 1(1)	あさひ銀行 1(0)	非営利的団体	半田市 1(1)
中野ハガネ 1(1)	東海銀行 1(0)	国民金融公庫 3(0)	土岐市 1(1)
電気機械器具 6(0)	大垣共立銀行 6(0)	住宅金融公庫 1(0)	美濃加茂市 1(0)
日立製作所 1(0)	十六銀行 5(0)	名古屋証券取引所 1(0)	(注)
日本電気 2(0)	百五銀行 3(1)	愛知県信用保証協会 1(0)	I ( ) 内数字は、女子の内数を示す。
住友電送 2(0)	第三銀行 1(0)	愛知県住宅供給公社 1(1)	II 本表は、進路届・就職内定届に基づき自己申告により作成した。
アイホン 1(0)	八十二銀行 1(0)	名古屋住宅供給公社 1(0)	III 従って、進路希望調査時に於いて自営・進学・結婚・帰国・国家試験等に分類した。
輸送用機械器具 7(2)	岐阜信用金庫 1(1)	名古屋小規模金融 1(0)	
トヨタ自動車 1(0)	岡崎信用金庫 2(0)	岡崎市医師会 1(1)	
三菱自動車工業 1(1)	中央信託銀行 1(0)	サービス業 27(18)	
トヨタ車体 2(1)	証券・商品取引	近畿日本ツーリスト 1(0)	
豊田合成 1(0)	日興証券 1(0)	日通旅行 1(1)	
フタバ産業 1(0)	豊商事 1(0)	郵船航空サービス 1(1)	
中央精機 1(0)	ダイワフューチャーズ 1(0)	大阪有線放送社 1(0)	
精密機械器具 3(0)	東海交易 2(2)	本多企業 1(0)	
愛知時計電機 1(0)	保険	サト 1(1)	
トーマテクノロジー 1(0)	東京海上火災保険 3(3)	ダイコク電機 3(2)	
ヨシタケ 1(0)	三井海上火災保険 2(0)	NECソフトウェア中部 1(1)	
その他 2(0)	安田火災海上保険 1(1)	東邦ガス情報システム 1(0)	
日本特殊陶業 1(0)	日本火災海上保険 1(1)	藤井バンキング・ソフトウェア 4(1)	
I N A X 1(0)	日本生命 1(0)	トヨタシステムインテグレーション 2(1)	
卸小売業 23(7)	住友生命 2(0)	ダイテック 1(0)	

自営	3(1)
大学院進学	7(2)
結婚	1(1)
帰国	2(1)
国家試験等受験準備の為就職せず	7(2)

## 梅津和郎教授の最終講義



1994年3月をもって、梅津先生が定年退官なさいました。梅津先生が大阪外国語大学から名市大に移られたのは1989年4月であり、この時期には社会人大学院開設や経営学科設置と、経済学部には大きな変化がありました。

梅津先生には比較商社論と経営史に加え経営管理総論、企業論、教養部の経営学と数多くの講義を担当して頂き、人手不足の経営学科において、その広い学識と大学改革へ

の意欲を十二分に発揮して頂きました。

最終講義は1月19日の午後2時40分より、「ロシア・東欧企業の民営化」というテーマで行われました。梅津学部長（当時）の挨拶と西田先生の経歴紹介に続き、講義が始まりました。学部と大学院の学生に加え、多数の教員も出席する中で、先生が経済学を志された経緯から、ロシア、東欧諸国における企業民営化の現状、最近のロシア政局と経済情勢まで、熱心にお話になりました。

最後に、名市大に客員として滞在なさった中国吉林大学の教授との共同研究成果を出版なさる予定にも触れ、国際的、歴史的視点からの研究に対する尽きない興味を語られて、最終講義は終了しました。

（経済学部助教授 岸 志津江）

## 名古屋市立大学での留学生活

NSW大学 交換留学生 ソニア・シュム・モ・イ

名市大経済学部のキャンパスは、日本に来る前に私が思っていたより小さかったですが、教員と学生の間や学生と学生との間でとても親しい関係を作りやすいキャンパスだと強く感じました。

名市大とオーストラリアの大学の違いは、ほぼ男子学生と女子学生と自然に分かれている状態の講義室と食堂に対して一番強く感じました。



水無月祭にて 前列左から3番目がシュムさん

そして、時々、先生はスリッパをはいたまま、講義をなさる点もオーストラリアでは見たことがありませんでした。また厳しくやっているクラブと部員の献身的な精神も実際の日本社会を反映していると思いました。

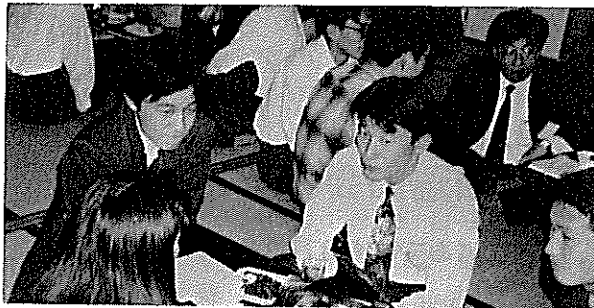
私は日本での大学生活の体験を豊かにするために、AIESEC(国際経済商学学生協会)というクラブに参加しました。そして、日本人の大学生の友達ができ、とてもうれしく思っています。

一年間、名市大で勉強した感想としては、最初、日本に来たばかりの私は、海を渡って異国に来たという緊張を持っていましたが、今の私は以前より日本語が上手になったことで、日本の文化や社会や色々なことについての理解を深くすることができました。この一年間の日本での留学体験は、私の人生にとって、豊かで永遠に忘れられないものとなりました。

## ゼミ協主催による 「OBとの交流会」 開催

バブル崩壊後、大学生にとって厳しい就職状況が続いています。経済学部事務室もこれまで、4年生の春に開催していた「就職ガイダンス」を3年生の秋へと変更しました。将来の進路に対して早めに自覚してもらい、他の大学に遅れをとらぬようという措置で、平成5年11月19日（金）午後2:30から午後6:00までは「就職ガイダンス」（事務室主催）が行なわれました。会場となった101教室は、超満員で講演者や4年生の就職活動体験談に熱心に耳を傾けていました。

さて、午後6:00からはゼミナール協議会の主催で「OBとの交流会」が学生会館3階和室にて行なわれました。ゼミ協からの依頼で瑞山会



### 「OBとの交流会」に参加して

景気低迷、雇用調整のための新卒採用抑制などの情報で来年の就職活動に不安を覚えていた時になされた就職説明会、交流会でした。

説明会では、先輩方のお話で今できる事、就職活動の心がまえ、活動を始める時期など今まで知りたいと思っていたことの様子がわかり、安心したのと同時に気持ちの引き締まる思いがしました。

その後の交流会では、説明会ではできなかった質問を4年生の先輩に直接うかがうことで先輩方達がどのように就職活動をしてきたか、さらに詳しく知ることができ、とても参考になりました。また、OBの方がいらしてからは、会社の様子や、学生ではわからない各業界の様子も知ることができ、参加したことによって以前

もこれをバックアップし、OBの参加依頼を行ないました。50名程の参加学生のうち報道でとりあげられているように四年制大学女子学生の就職難を反映して女子の姿が多く見られました。

OBは仕事を終えてから、来学するので、全員が揃ったのは7時過ぎになりましたが、職種もさまざまな約20名が集まりました。各テーブルにOBが座わり、軽い食事をとりながら、学生の就職に対する不安を聞いたり、会社に勤めるということについて話したり、学生からの質問に答えたりして2時間があっというまに過ぎました。最後に、瑞山会会長の前田勝昭氏にご挨拶いただき、日本経済の見通しと企業人としての生き残りについて手短かに講演してもらいお開きとなりました。

夜遅くまで残っていた50名程の学生の意欲に驚き、また、わざわざ来学して下さったOBの皆様のご好意に深くお礼申し上げます。企画から当日まで精一杯お世話を引きうけてくれたゼミ協の学生諸君の努力に感謝します。この意気込みで就職戦線を乗りきって下さい。



よりも理解が深まったように感じます。思ったよりも時間は短く、多くの先輩が来て下さったにもかかわらず、本当にごく一部の先輩としかお話ができなかったことが残念です。

交流会は今年が初めての企画ということですが、説明会だけではわからないことを知ることができ、また、直接、社会人の方々とお話できることはとても有意義なことと思います。主催して下さいの皆様へ感謝をしたいと思いますし、今後もさらに改善しながら続いてゆくことを希望します。（星野ゼミ 4年 粥川理早）

## 事業部だより

2回目の行事となりました『山崎川花見と茶会の催し』が去る4月4日(日)に薬学部同窓会館を利用して行われました。3学部合同参加ですので、いろいろな皆様と交友を深めることができましたようでした。来年も4月第一日曜日に開催の予定ですので、次回会報にご留意下さい。

また、4月23日『第23回名市大OBゴルフコンペ』が、松名CCにて行われました。花曇りの中、まずまずのコンディションでの戦いとなり、山西和宏氏(1期生)が8アンダーとぶっちぎりの優勝となりました。ハンディが甘いのでは



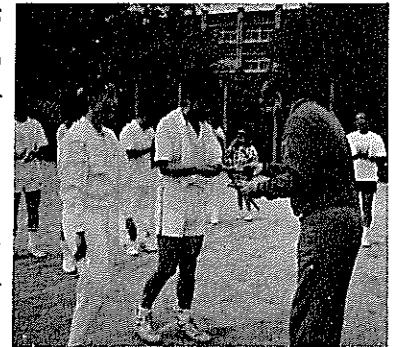
ないかとの声もありましたが、次回からは厳しくなりそうです。準優勝は栗山信治氏(2期生)、3位水野勤氏

(1期生)でした。次回開催地は未定ですが、10月2日(土)を予定しています。幹事は山西氏、柴田照男氏(5期生)となります。

また、『第5回硬式テニスの会』が5月3日に山の畑テニスコートで行われました。優勝は西田耕三教授と奥田茂(23期生)夫人のチームでした。準優勝は加藤実おしどり夫婦でした。

今後の行事予定は、10月2日の『第24回名市大OBゴルフコンペ』の他に、昨年に引き続き、『野外バーベキューパーティ'94』(詳細下記の通り)を9月4日に行ないます。

また、毎年人気の『市大祭模擬店コーナー』も、例年通り11月3日を予定しています。各模擬店に利用できる金券を会場でお渡ししますので、ご家族、お友達をお誘いの上、お出掛け下さい。また、1月には『スキーツアー'95』を行ないたいと考えています。



詳細につきましては、次回会報にてご案内する予定ですが、御希望の方は、事業部宛ご照会下さい。

## 第4回瑞山会お楽しみクイズ

①～③にあてはまる言葉をハガキに記入して返送下さい。

10名の方に粗品をさし上げます。

名市大経済学部は、今年で創立(①)年です。(②)月27日に記念祝賀会を(③)ホテルで開催します。

## 《野外バーベキューパーティ'94》のご案内

今年も、瑞山会では、野外バーベキューパーティを開催いたします。参加をご希望の方は8月20日までに同封のはがきにてお申し込み下さい。

日 時：平成6年9月4日(日)12時集合(雨天決行)

場 所：内海フォレストパーク・デーキャンプ場 (0569)62-1685

交 通：名鉄内海駅からバスで10分

参 加 費：入園料のみ

大人 1,000円、小学生 600円、幼児 400円

お問合せ先：(052)872-5710 名市大 経済学部資料室 倉地まで

ご家族連れでぜひご参加下さい!!

## 経済学部創立30周年記念事業のご案内

前号に引続き、本号にも同封いたしました案内ピラを参照して下さい。記念事業の最新の情報と若干の変更について、いち早くお知らせします。

### 【祝賀会 式次第の変更について】

記念祝賀会(11/27)の順序が、以下のように変更になりました。当日、ご出席を予定されている方は、特にご注意下さい。

- ①瑞山会総会 10:00~10:30
- ②講演会 10:30~11:30
- ③記念式典 11:30~12:30
- ④祝賀会 12:30~15:00

変更点：②と③の順序が逆になりました。

### 【記念祝賀会の参加者募集】

寄付金とその名簿については、次の頁に掲載されており、11月以降でも振込用紙にて受付ます。11/27の祝賀会の参加を予定されている方は、振込用紙での受付は、準備の都合上、11月で締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。(11月以降の参加の申し込み要領は次号に掲載します。)

各ゼミ同窓会や職場のOB会での参加をお待ちしておりますのでご連絡下さい。また、20名以上での参加団体には、テーブルを用意しますので同窓会の場としてご利用下さい。

### 【ご入金についてのご注意】

ご入金には、同封ピラに添付の振込用紙をご利用下さい。祝賀会の参加費と寄付金は、別途

になっておりますのでご注意ください。振込用紙の表面の記入欄(卒業年、ゼミ、振込該当項目など)を記入した上で、お振込下さい。

- ・祝賀会費 1万円
- ・寄付金 1口(1万円)以上

なお、寄付金をいただいた方全員に、記念誌「30周年の歩み」を贈呈させていただきます。

### 【瑞山会報 30周年記念号】

次号の瑞山会報(第23号)は、創立30周年記念号として本年10月に発行します。会員の皆さんの30周年一言コメントを募集しますので、同封のハガキに書いて返送いただくか、もしくは寄付金・祝賀会参加費を納入する際に、振込用紙の裏面に書いて下さい。できるだけ掲載したいと思います。

### 【瑞山会名簿発行のお知らせとお願い】

瑞山会会員名簿(第5号)を予定を繰り上げて発行しますので、住所変更・記載変更の必要のある方は、お手数ですが、同封のハガキ表面に必要事項を記入して返送して下さい。

### 《30周年事業に関するお問い合わせ》

〒467 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1

名古屋市立大学経済学部

30周年記念事業実行委員会

経済学部資料室 倉地 宛

TEL052-872-5709

または

生協専務 橋本

TEL 052-881-5906

## 西尾名古屋市長さん特別講義

経済学部30周年記念事業の1つとして、名古屋市長の西尾武喜氏に経済史総論の特別講義を経済学部が予定をしています。6月30日午前10時40分より経済学部201教室にて行いますので、聴講に関心のあるOBは経済学部事務室(TEL 052-872-5701)までお問い合わせ下さい。

## 30周年記念事業寄付金にご協力を!!

現在、経済学部創立30周年記念事業寄付金はぞくぞく集まっています。

当面の目標500万円に対して94年6月現在198万円が集まっています。以下に寄付された卒業生の方々の一覧を掲載します。(敬称略 アイウエオ順)

氏名	ゼミ名	期	寄付金	氏名	ゼミ名	期	寄付金	氏名	ゼミ名	期	寄付金
秋田 宏子	中居	10	10,000	児島 完二	妙見	22	10,000	中矢 俊博	岡崎	6	10,000
浅井 和良	静田	1	10,000	児島 憲一	宮川	5	10,000	中山 恵子	木村	16	10,000
荒深美和子	木村	9	10,000	小嶋 義雄	一谷	1	10,000	永井 達	松井	10	10,000
栗野 泰次	大山	1	10,000	近藤 常夫	平田	1	10,000	長江 洋	柴田	4	10,000
家田 篤夫	井上	21	10,000	近藤 一善	芝原	6	10,000	成瀬 康元	松井	12	10,000
石川 輝明	柴田	3	10,000	近藤 敏之	西田	12	10,000	新美 和彦	上村	10	10,000
石黒 時彦	松井	3	10,000	近藤 彰	牛嶋	4	10,000	西川 義明	小林	2	10,000
石田 安	牛嶋	15	10,000	後藤 宏	一谷	1	10,000	西垣 英昭	一谷	1	20,000
市野 和治	牛嶋	9	10,000	榊原 茂	松永	1	10,000	野田 清次	牛嶋	5	10,000
伊藤 太郎	中居	19	10,000	櫻井 和世	國村	22	10,000	橋本 光生	醍醐	18	10,000
伊藤 典昭	安藤	19	10,000	佐々木 研一	松永	8	10,000	服部 一朗	大橋	11	10,000
伊藤 宗彰	福田	3	10,000	澤田 康夫	岡崎	5	10,000	林 伸二	金子	2	10,000
伊藤 朋弘	大路	21	10,000	七里 俊治	山本	5	10,000	坂野 修	山本	2	10,000
伊藤 幸雄	妙見	5	10,000	柴田 光晴	神山	22	10,000	雛倉 宇一	小林	2	10,000
伊藤 孝	山本	6	10,000	柴田 修二	上村	11	10,000	日野田 由美	多和田	27	10,000
伊藤 保和	大山	1	10,000	柴田 巨	中居	22	10,000	平川 政彦	静田	3	10,000
稻石 敏之	村田	9	10,000	清水 智治	根津	10	10,000	平林 隆夫	松井	2	10,000
稻津 和彦	中居	8	10,000	杉浦 晴義	松永	5	30,000	藤川 哲夫	松井	2	10,000
岩田 正和	牛嶋	19	10,000	杉浦 秀昌	松永	3	10,000	夫馬 公吉	牛嶋	3	10,000
魚住 秀明	上村	8	10,000	杉原 俊一	松永	14	10,000	古田 徹朗	大路	18	10,000
内田 幸夫	妙見	6	20,000	鈴木 正紀	金子	1	20,000	前田 勝昭	岡崎	1	100,000
内山 亮治	松永	14	10,000	鈴木 辰夫	辻	20	10,000	前田 進	松永	4	10,000
大嶋 隆敏	松永	5	10,000	鈴木 謙次	松井	13	10,000	松岡 保裕	岩崎	4	10,000
大嶋 良英	岡崎	1	10,000	鈴木 康生	松永	10	10,000	松原 隆二	中居	4	10,000
岡田 美津男	中居	10	10,000	鈴木 満治	牛嶋	8	10,000	真弓 貴之	宮川	11	10,000
岡田 鈴男	木村	1	10,000	高橋 豊	安藤	17	10,000	水野 勤	静田	1	10,000
岡本 浩	静田	1	10,000	高橋 和彦	岡崎	2	10,000	水野 金孝	藤田	5	10,000
小川 博	中居	17	10,000	武石 強志	岸	23	10,000	三宅 政臣	一谷	1	10,000
荻野 考史	牛嶋	13	10,000	竹田 育雄	岩橋	11	20,000	宮田 達美	西田	8	10,000
奥 充弘	根津	19	10,000	田中 喜夫	岡崎	7	10,000	宮田 和幸	村田	17	10,000
加古 諭	木村	17	20,000	田中 征雄	松永	1	10,000	宮森 淳一	松永	13	10,000
片山 政樹	上村	22	10,000	田中 真由美	根津	16	10,000	百松 義朗	安藤	13	10,000
加藤 嘉行	福田	1	10,000	多和田 真	岡崎	4	30,000	八木 得三	山本	5	30,000
加藤 聡	大橋	11	10,000	都島 忠比古	山本	3	10,000	安井 正雄	中居	8	10,000
加藤 研一	藤田	3	10,000	都築 匡子	中居	9	10,000	柳澤 敬	岸	25	10,000
加藤 義幸	大学院		10,000	坪井 聖子	妙見	26	10,000	山口 廣昭	松永	4	10,000
加藤 実	宮川	6	10,000	手嶋 亨	辻	27	10,000	山田 雅也	松永	3	10,000
河合 宏征	傍島	2	10,000	手塚 祥郎	牛嶋	1	10,000	山田 隆生	松井	5	10,000
川島 優	一谷	2	10,000	寺町 信雄	金子	1	10,000	山本 公明	静田	2	10,000
川村 智	神山	17	10,000	富田 真明	西田	12	10,000	横江 基博	安藤	12	10,000
川村 俊雄	松井	3	10,000	富田 和男	真藤	11	10,000	鷺津 弘	妙見	23	10,000
日下部 一郎	芝原	4	10,000	鳥本 次俊	山本	4	10,000	渡辺 江利子	内藤	26	10,000
国島 和樹	上村	8	10,000	苗村 悟	牛嶋	23	10,000	渡辺 真一	大山	1	10,000
倉地 弘美	松永	14	10,000	中川 広孝	牛嶋	6	10,000	渡辺 尚泰	柴田	3	10,000
黒宮 孝二	中居	5	10,000	中川 みき	上村	22	10,000	渡辺 昭	松井	3	10,000
畔柳 一	星野	19	20,000	中村 正治	木村	5	10,000				
				中村 千加	佐々木	27	10,000				